

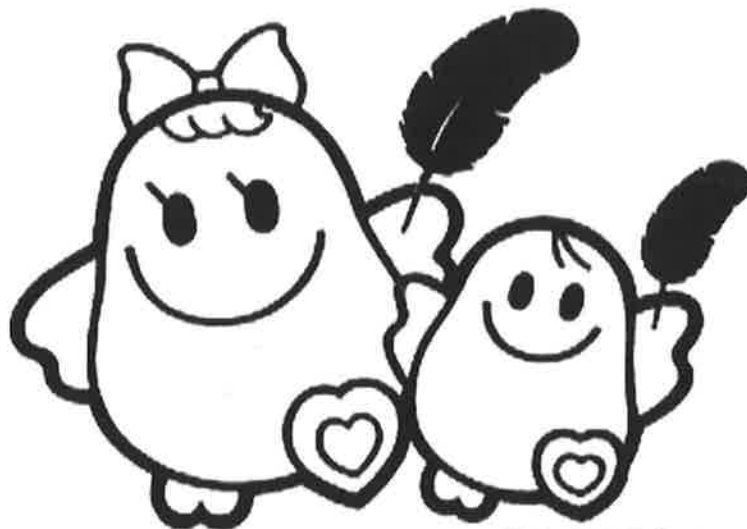


(日光市社会福祉協議会イメージキャラクター:ニッキー)

令和5年度
地域福祉活動支援事業
ボランティア活動推進校事業

手続きについて

愛ちゃん と 希望くん



©中央共同募金会

※この事業は、赤い羽根共同募金の配分金を原資としています。

社会福祉法人 日光市社会福祉協議会

助成金申請手続きの流れ

- 【申請できる団体】 日光市内の小・中学校及び高等学校
- 【申請可能事業】 当該年度（令和5年度）4月1日から3月31日までに実施する事業で、助成対象事業に該当するもの
- 【手続きの流れ】

申請 本事業による助成を希望する学校は、下記書類を期日までに事務局へ提出してください。

提出期限 令和5年4月14日（金）必着

【申請書類】 1. 助成金交付申請書（様式第1号）
2. 事業計画及び収支予算書

審査・決定 申請書類に基づき事務局で審査を行い、助成の可否及び金額を通知します。助成を受ける学校は、事務局より送付する「交付請求書（様式第6号）」を再度提出してください。

交付 指定期日内に提出された交付請求書に基づき指定口座に助成金を振り込みます。（現金及び郵便局不可）※助成金の使用用途が申請時より変更になる場合は、事前に事務局へ連絡してください。


事業実施 事業にかかる経費は必ず「領収書」を受け取ってください。領収書には必ず「但し書き」を明記してください。購入した物、数など明らかになるようにしてください。

報告・精算 当該事業終了後の30日以内又は当該年度3月31日のいずれか早い日までに下記書類を提出してください。
（土・日・祝日の場合は翌開所日）

【報告書類】 1. 助成金実績報告書（様式第5号）
2. 事業報告及び収支決算書
3. 領収書（写）
4. 活動写真

※返金が生じる場合には、事務局まで事前にご連絡ください。

日光市社会福祉協議会地域福祉活動支援事業概要 (「ボランティア活動推進校事業」用)

目 的	地域福祉の向上を目的とした市内小・中学校及び高等学校が行うボランティア活動促進・福祉教育推進事業への支援
助成対象事業	学童・生徒のボランティア活動の促進並びに福祉教育の推進を目的とし、それぞれの地域の実情に応じた独自の工夫と計画に基づいた以下に該当する事業 ①社会福祉やボランティア活動に関する調査・研究、広報・啓発活動 ②福祉体験学習を目的とした実践事業 ③高齢者や障がい児・者等との交流事業 ④地域におけるボランティア活動 ⑤その他目的達成のために必要な事業
申請条件	市内の小・中学校及び高等学校であること ※ <u>小中学校が併設されている場合は小中学校長名で 1 申請のみとさせていただきます。</u>
助成対象経費	報償費、交通費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、使用料及び賃借料、損害保険料、賄材料費
助成金額	対象経費総額の 100 分の 100 の額 ・助成金額：2 万円 ※令和 4 年度から 2 万円を限度額として助成 ※1,000 円未満切捨 ※他の団体等からの助成制度の対象となっている事業は対象外
助成回数	各助成対象事業に対し、1 年度につき 1 校 1 申請
申請	申請書と事業計画及び収支予算書を提出
報告	当該事業終了後の 30 日以内又は当該年度 3 月 31 日のいずれか早い日までに報告書と添付書類（収支決算書・活動写真等）を提出してください。 ※支出済み額については、必ず領収書のコピーを添付すること。
返金	返金が生じた場合は、報告時を原則とする。ただし、通年の活動で 3 月中も活動をしている場合は、3 月末までに返金すること。
その他	この助成金は共同募金の配分金を活用しています。 共同募金運動と PR 活動にご協力ください。 <div style="text-align: right;">  </div>

助成対象経費について

【対象となる経費】

報 償 費	講師・出演者等への報酬、謝礼、記念品代
交 通 費	ボランティア活動等に係る学生の交通費（公共交通機関の利用のみ可） ※但し、領収書等が必要になります。領収書等が発行されない場合は、所定の「支払証明書」が必要です。
消 耗 品 費	文具、用紙、材料など
印 刷 製 本 費	チラシ・ポスター・資料の作成費用、印刷費、コピー代、写真現像代など ※印刷に使う用品（用紙、インク等）は消耗品費で計上してください。
通 信 運 搬 費	切手、ハガキ、郵券代など（電話代は対象外）
使用料及び賃借料	会場使用料（使用に係る設備費）、施設見学に係る入場料、バス借上料など
損 害 保 険 料	行事用保険料など（ボランティア活動保険のような個人の保険は対象外）
賄 材 料 費	交流会等の食材料費（活動に係る少額程度の飲み物代は可）

【対象とならない経費】

食 料 費	お弁当や菓子類など（既製品類や給食費）
燃 料 費	ガソリン代、灯油代など
備 品 購 入 費	1万円以上の備品等の購入費
交 際 費	慶弔費（祝い金や香典）、他団体の行事参加費、土産代など
領収書等により支払ったことが明確に確認できない経費	
社会通念上適切でない経費	

※支出する際の注意事項について

- 品物は項目ごとに分けて購入し、領収書を受け取ってください。
（領収書の宛先は「学校名」で結構です。）
- 領収書には但し書きを必ず明記してください。



※その他の注意事項について

- 助成金の振込日は原則、請求日の翌月末となります。
- 本会からの助成金は、「日光市社会福祉協議会」の名義で指定口座に振り込まれます。他の助成金等とお間違えがないよう、ご注意ください。
- 助成金の返金が生じる場合には、清算等の手続きがありますので、まずは事務局まで事前にご連絡ください。

申請書類 記入例

様式第1号(第3条関係)

令和〇年 4月 〇〇日

日光市社会福祉協議会会長 様

**新年度の日付(4月1日以降)
をご記入ください。**

申請者 住 所

名 称 及 び

代表者氏名

日光市〇〇
〇〇〇〇学校
校長 社 協 太 郎

印

**新年度の代表者氏名(校長名)
をご記入ください。**

助成金等交付申請書

令和〇年度地域福祉活動支援事業(ボランティア活動推進校事業)助成金
〇〇,〇〇〇円を交付されるよう社会福祉法人日光市社会福祉協議会助成金等交付
規程第3条の規定により関係書類を添えて申請します。

関係書類

- 1 事業計画書及び収支予算書

令和〇年度 事業計画書

事業名	高齢者との交流活動 障害をもった方への理解を深める活動
助成金額	2万円
事業概要	<p>1学年・・・生活科「むかしからのあそび」で伝統的な遊び（はねつき、たけとんぼ、お手玉など）をおじいさん・おばあさんに教えていただきながら、一緒に遊ぶ。</p> <p>2学年・・・生活科の単元「おいしいやさいになあれ」で、おじいさん・おばあさんに野菜作りを教えていただいたり、一緒に収穫祭をしたりする。</p> <p>3～4学年・総合的な学習の時間で「福祉」を学習する。学校の近くにある福祉施設〇〇の郷を訪れ、高齢者とのふれあいをもつ。</p> <p>5～6学年・障害をもったお子さんを持つ保護者の方たちの話を聞かせていただく。</p>
目的	<p>1・2学年・・・一緒に活動することで、活動の幅をひろげることができるとともに、高齢者を尊敬する心、思いやりの心を育てる。</p> <p>3・4学年・・・高齢者福祉について理解を深めるとともに思いやりの心を育てる。</p> <p>5・6学年・・・障害をもつ人への理解を深め、適切な関わり方や保護者の方の気持ちを聞くことで、思いやりをもって接することができるような心を育てる。</p>
期日	<p>1学年・・・1月～2月中に1回実施予定</p> <p>2学年・・・5月～11月（収穫祭）に3回実施予定</p> <p>3・4学年・・・10月～11月に訪問予定</p> <p>5・6学年・・・7月5日（月）</p>
場所	<p>1学年・・・〇〇小学校</p> <p>2学年・・・〇〇小学校</p> <p>3・4学年・・・〇〇小学校</p> <p>5・6学年・・・〇〇小学校</p>
対象学年及び人数	<p>1学年・・・児童〇〇人 教員〇名</p> <p>2学年・・・児童〇〇人 教員〇名</p> <p>3・4学年・・・児童〇〇人 教員〇名</p> <p>5・6学年・・・児童〇〇人 教員〇名</p>
期待される効果	<p>〇おじいさん・おばあさんに教えていただいたり、一緒に活動したりすることによって、学習への理解を深めるとともに、高齢者を尊敬する心、思いやりの心を育てることができる。</p> <p>〇障害のあるお子さんをもつ保護者の方たちのお話を聞くことで、障害をもつ人への理解を深め、適切な関わり方や保護者の方の気持ちを聞くことで、思いやりをもって接することができるような心を育てる。</p>
備考	

【記入例】

令和〇年度 収支予算書

	項目		予算額 (円)	摘要 (内訳・内容を記入してください。)	
	収入	市社協助成金		C 20,000	
自己資金					
その他					
合計		20,000			
支出		助成対象経費	報償費	5,000	記念品代、謝礼
			交通費	3,200	〇〇施設までの移動代 電車〇〇円 バス〇〇円
			消耗品費	3,440	A4用紙、B4用紙、白画用紙、プリンターインク代他
			印刷製本費	5,000	写真現像代
			通信運搬費		
			使用料及び賃借料		
	損害保険料				
	賄材料費		3,360	交流会の食材費	
	小計		A 20,000		
	その他の経費				
小計		0			
合計		20,000			
申請額 算出基礎	助成対象経費計A		助成基準額B (B=A×100%) ※千円未満切捨て	助成金申請額C (Bと比較して少ない方)	
	20,000円		20,000円	20,000円	
備考					

様式第6号(第10条関係)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

日光市社会福祉協議会会長 様

申請者 住 所

名称及び

代表者氏名

日光市〇〇

〇〇〇〇学校

校長 社 協 太 郎 印

助成金等交付請求書

令和〇年〇〇月〇〇日付け日社協指令第△△△号で交付決定通知のあった令和〇年度地域福祉活動支援事業(ボランティア活動推進校事業)助成金について、下記のとおり交付されるよう社会福祉法人日光市社会福祉協議会助成金等交付規程第10条の規定により請求します。

記

1 助成金等交付決定通知額	〇〇,〇〇〇円
2 助成金等既受領額	0円
3 今回請求額	〇〇,〇〇〇円
4 残 金	0円
5 交付決定通知書の写	(別 紙)
6 助成金振込指定口座	〇〇〇銀行 〇〇〇支店 普通 No.△△△ (フリガナ) 口座名義 〇〇〇〇学校

様式第5号(第7条関係)

令和〇年〇〇月〇〇日

日光市社会福祉協議会会長 様

申請者 住 所

名 称 及 び

代表者氏名

日光市〇〇

〇〇〇〇学校

校長 社 協 太 郎 (印)

助成事業等実績報告書

令和〇年度地域福祉活動支援事業(ボランティア活動推進校事業)を完了したので、社会福祉法人日光市社会福祉協議会助成金等交付規程第7条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

関係書類

- 1 事業報告書及び収支決算書
- 2 領収書(写し)

令和〇年度 事業報告書

事業名	高齢者との交流、障害をもった方への理解を深める活動		
目的	<p>○高齢者と一緒に活動することで、活動の幅を広げるとともに、高齢者を尊敬する心、思いやる心を育てる（1年生、2年生）</p> <p>○障害者福祉・高齢者福祉についての理解を深める（3年生、4年生）</p> <p>○障害を持つ方への理解を深め、適切な関わり方や保護者の方の気持ちを聞くことで、思いやりをもって接することができるような心を育てる。（5年生、6年生）</p>		
対象学年及び人数	全学年対象		
助成金額	2万円		
実施内容			
項目	期日／場所		具体的な内容
事前学習	1年生	1月～3月 ○○小	・生活科の学習で昔遊びを体験する。 ・発表会の練習をする。
	2年生	4月～ ○○小	・野菜の育て方を調べる。
	3～4年生	2月 ○○小	・「福祉」について考える。
	5～6年生	4月～6月 ○○小	・道徳の時間や学活の時間に発達段階に応じた学習を行う。 (他の人とのかわりに関すること、集団や社会の関わりに関すること)
実施事業	1年生	3月4日 ○○小 3月22日 ○○の郷	・班に分かれ、昔遊びを教えてもらう。 ・1年間学んできた学習の成果を福祉施設「○○の郷」に行って発表する。
	2年生	5月 ○○小 12月8日	・生活科の時間に教えてもらいながら野菜の世話をする。 ・高齢者を招いて収穫祭を行う。
	3～4年生	3月 ○○小	・目隠し体験を行い、感想を話し合う。 ・障害者福祉、高齢者福祉についての学習をする。
	5～6年生	7月5日 ○○小	・NPO法人○○○○方からの講演を聞く。
事後学習	1年生	3月 ○○小	・お礼のお手紙をかく。 ・考えたこと、分かったことなどを話し合う。
	2年生	12月 ○○小	・お礼のお手紙をかく。 ・野菜の作り方についてまとめ、発表する。
	3～4年生	3月 ○○小	・分かったこと、学んだことをまとめる。
	5～6年生	7月5日 ○○小	・お礼のお手紙をかく。 ・感じたこと、分かったこと、これから障害をもった人に対してどのように接していけばよいかなどをクラスごとに話し合う。
実施後の効果	<p>○1・2年生は高齢者に昔遊びや野菜の作り方を教えていただいたことで、知らなかったことが分かるようになったり、できなかったことができるようになったりと学習を深めることができた。高齢者の方が励まして下さったおかげで、最後まで意欲的に活動できた。</p> <p>○講演の中で、疑似体験をしたり、障害をもった子はかわいそうな子ではなく、自分たちと同じようにできることやできないことがあるといったお話を聞いたりしたことで、障害をもった人に対する理解を深めることができ、今後の関わり方を考えることができた。</p> <p>○高齢者や障害児の母親と話したり触れ合ったりする中で、いろいろな人々の気持ちや考え方を知り、他者を気遣う気持ちが培われた。</p>		
備考			

【記入例】

令和〇年度 収支決算書

	項目		予算額(円)	決算額(円)	比較増減	摘要 (内訳・内容を記入してください。)
	収入	市社協助成金		C 20,000	20,000	0
自己資金						
その他						
合計		20,000	20,000	0		
経費の内訳	助成対象経費	報償費	5,000	5,000	0	講師謝礼
		交通費	3,200	3,200	0	〇〇施設までの移動代 電車〇〇円 バス〇〇 円
		消耗品費	3,440	3,440	0	昔遊びの道具・アイマ スク・画用紙・インク 代等
		印刷製本費	5,000	5,000	0	写真現像代
		通信運搬費			0	
		使用料及び賃借料			0	
		損害保険料			0	
		賄材料費	3,360	3,360	0	お米代等
		小計	20,000	A 20,000	0	
	その他の経費					
小計		0	0	0		
合計		20,000	20,000	0		
助成金 算出基礎	市社協助成金額C		助成基準額B (B=A×100%) ※千円未満切捨て		返金額(C-B)	
	20,000円		20,000		0円	
備考	※必ず領収書のコピーを添付してください。					

支払証明書

支払金額 ￥ _____ 円

支払事由 _____

【支払内訳】

公共機関名	区間	料金(単価)	利用人数	合計金額	支払年月日
合 計					

上記は正当に支払われたことを証明する。

令和 年 月 日

所在地

学校名

校長名



インターネットからのダウンロード方法

日光市社会福祉協議会 ホームページ
URL: <http://www.shakyo-nikko.or.jp/>

「ボラ福祉教育」にカーソルを合わせ、ここをクリックしてください。



ボランティア・福祉教育推進のための活動・事業

1. ライフステージに応じたボランティア活動の参加促進

ボランティア活動参加促進

- ボランティア活動のすすめ
- ボランティアガイド(保険・登録)
- ボランティア活動振興助成
- 介護支援ボランティア
- 車いすボランティア入門講座
- ボランティア情報はこちら
- 車いすボランティア派遣
- ボランティア体験月間
- 手話・点訳等ボランティア養成講座
- ボランティアインターンシップ

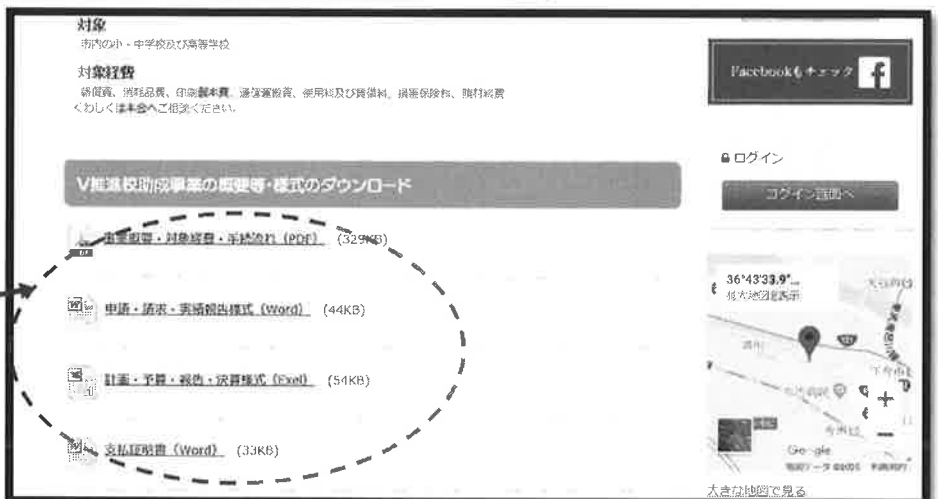
2. 市民をエンパワメントする福祉「共育」の推進

福祉「共育」

- 小学生ふくし体験教室
- 青少年ボランティアリーダー養成研修
- 大人のためのボランティア学校
- ユースワーク社協プロジェクト
- 中高生ボランティアグループ "Living Space"
- 学校支援 (福祉講座派遣・ボランティア活動推進校助成・総合学習等支援)
- 貸出福祉・福祉用具
- 中学・高校生ワークキャンプ

「ボランティア活動推進校助成」をクリックして下さい。

ここにあります。



【申請及び問合せ先】

社会福祉法人 **日光市社会福祉協議会**

本所・地域福祉課地域支援係

〒321-2522

日光市鬼怒川温泉大原2-6

TEL: 25-3070

FAX: 25-7288